

# ヨコハマタイヤ・マニュファクチャリング・タイランド CSRレポート

**事業内容:** ラック・バス用タイヤ、小型トラック用タイヤ、乗用車用タイヤの生産・販売  
**敷地面積:** 418,029m<sup>2</sup> (工場)、1,690,000m<sup>2</sup> (テストコース)  
**従業員数:** 1,903人 (2011年12月末現在)  
**所在地:** 7/216 Moo.6, Amata City Industrial Estate, Tambol Map Yang Porn, Amphur Pluakdang, Rayong Province 21140, Thailand  
 TEL: +66(38)650-350~63

**相談・苦情などの受付窓口:**  
 Human Resources and Administration Dept.  
 TEL: +66(38)650-350-63 FAX: +66(38)650-319



## 社長ご挨拶



水本 康博

当社は横浜ゴムの中期経営計画 (GD100) において、海外における総合タイヤ (TBS、PC/LT) の生産拠点にすべく2004年からタイ国において事業をスタートしております。2009年には横浜ゴムのタイヤ開発・試験能力を飛躍的に強化するために、工場から30km離れた場所にタイヤブルーピンググラウンド・TIRE TEST CENTER OF ASIA (T.T.C.A.) を設立し、本年はその敷地内にタイヤサービス・トレーニングセンターを加えました。

環境対応を確実にするために、2007年7月にISO14001の認証を取得し、昨年8月にタイ国では初めてとなるISO50001 (エネルギーマネジメントシステム)、そして安全衛生マネジメントシステムであるOHSAS18001を9月に取得しました。また、TBSタイヤのZ ENVIRONMENTシリーズをはじめとし、PC/LTにおいては、原料調達から環境に貢献する素材を使って低燃費、ウエットグリップ、耐磨耗のタイヤ性能を高次元に高めた

BLUE EARTHシリーズなどの環境貢献商品の生産比率をさらに拡大しています。

本年はタイの洪水が世界中に影響を与えた年でもあり、改めて「緑の大切さ」を痛感させられた年にもなりました。その中で、YOKOHAMA千年の杜プロジェクトでは4回目の植樹を行いました。周辺住民や子どもたち、従業員で植えた28,000本の苗木は、気候の影響で成長が早いタイ国において、7メートル以上になっています。広大なTTCAにも植樹を開始すべく準備を進めています。どんぐり拾いからの苗の育成も活発で外部の団体や会社に寄進し、たくさんの方が見学し、宮脇方式の杜作りに感動しています。環境に関する啓発活動も積極的にを行い、女性スタッフが学校を訪問したり野外教室を開いたりして、将来を担う子どもたちに肌で感じさせています。

地域に愛され、信頼されている工場で、環境負荷の少ない設備や生産の仕組みで、環境に貢献でき、また社会にも貢献できる事業活動を進めていきます。

## 環境経営の推進

### 環境マネジメント

#### 環境・エネルギー方針

- (1) 環境・エネルギーマネジメントの持続的改善を実現するため、すべての活動分野において環境に配慮した施策に取り組みます。
  - ・環境・エネルギーマネジメントシステムをすべての部門・工程、あらゆる活動に展開します。
  - ・環境・エネルギープログラムを維持改善するため各部門の役割責任を明示します。
- (2) すべての事業活動において環境負荷削減と資源の有効活用に取り組みます。
- (3) トップレベルの環境貢献企業を目指し環境保全に取り組みます。
  - ・地球温暖化防止のため温室効果ガスの排出量削減と省資源を推進します。
  - ・限りある地球資源を守るため、廃棄物の排出量削減と3R (Reduction, Reuse, Recycling) に努めます。
  - ・関連する法規制および同意した協定等を遵守します。
- (4) 地域社会とのコミュニケーションを深め、共生を目指します。
  - ・環境・エネルギーマネジメント活動の社内外における理解に努めます。
  - ・地域の皆さまからのご意見に対応します。

エネルギーマネジメントシステムISO 50001につきまして、2011年5月に第1次監査、6月の最終監査を経て、2011年8月に認証取得しています。タイ国で初めての会社として取得し、エネルギーPf改善が認められています。

### 環境データ

項目	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	
廃棄物発生量(t)	1,579.0	1,793.6	2,205.9	2,059.0	
埋立率(%)	1.3	0.2	0.0	0.0	
エネルギー使用量 (原油換算: kl)	電力	17,579	18,615	22,611	26,060
	燃料	6,019	6,684	7,946	9,456
	合計	23,598	25,299	30,556	35,515
温室効果ガス排出量(千t-CO <sub>2</sub> )	50.1	53.7	64.9	75.3	
水使用量(千m <sup>3</sup> )	516	586	495	559	

※年度: 1月~12月

※2008年度より温室効果ガス排出量の算定は、日本国の環境省・経済産業省発行の温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルを使用しました。



労働安全衛生

安全衛生方針

安全衛生基本理念

安全衛生はすべての基本であり  
 管理者と監督者の強力なリーダーシップと  
 全従業員の協力のもとに労働災害防止と快適な職場づくりを目指します。

基本方針

- (1) 安全、健康で快適な設備、職場づくりを目指します。
- (2) 管理者・監督者は不安全状態・行動を見逃すことなく部下の安全を守る責務を負います。
- (3) 職場の一人ひとりには職場の決め事を確実に守り、安全に徹した作業を行います。
- (4) 労働安全衛生法を始め関係する諸法令を遵守するとともに、社内規定・基準に基づき従業員の安全を確保します。
- (5) “整理・整頓は安全衛生の基本である”との考えをもとに2Sを徹底します。
- (6) 従業員の疲労やストレスを軽減するため、快適な職場環境の形成を促進します。
- (7) 工場幹部による声掛け運動で良好なコミュニケーションをつくります。
- (8) 安全衛生教育、諸活動を実施し、安全衛生意識の向上を図ると共に、協力会社へも安全衛生方針を表明し、協力を要請します。
- (9) 労働安全衛生マネジメントシステム(OHS)により作業と設備にかかわる潜在的危険を排除し、継続的なリスク低減を図ります。

労働安全衛生マネジメントシステムOHSAS/TIS 18001につきまして、2011年5月に第1次監査、6月の最終監査を経て、2011年9月に認証取得しています。

安全衛生につきましては、第一優先課題として、今後とも取り組んでいきたいと考えています。



従業員の教育・訓練

従業員が正しい安全知識を身に付け安心・快適に働けるよう、入社時の安全教育に加え作業への安全意識づくり講習、管理監督者へのリスクアセスメント教育・関連法案基礎知識教育、消火訓練、などを実施しています。

また、一般の安全運転教育・フォークリフト運転教育なども行っています。



災害時の対応

普段の消火訓練とは別に、火災に迅速に対応できるよう地域消防署および工業団地消防隊と連携した自衛消防組織を編成しています。

毎年の防災訓練の反省をもとに訓練計画を見直し、消火・救助技術の向上に努めています。



製品・サービスの安全と品質

苦情などへの対応

- ・環境貢献商品 Blue Earthシリーズの生産を2011年11月より開始しています。  
 今後、環境貢献商品の更なる生産比率拡大を進めていきます。
- ・タイヤブルーピンググラウンド(TIRE TEST CENTER OF ASIA (T.T.C.A.)) 敷地内にタイヤサービス・トレーニングセンターを開設致しました。

タイヤ燃費向上教育など、社外販売店の方も含め、広くタイヤについてご理解を深めていただいています。

- ・原材料の、地産地消を進めており、マイルージ(輸送ロス)低減・供給の安定を図っています。

特に、タイ洪水災害以降、活動を加速させています。

**サプライヤーとのコミュニケーション**

タイ国内のお取引さまについて訪問活動を2009年より開始、2011年は30社を訪問し、コミュニケーションを図りました。活動を通して対等で公平な協力関係を築き、お互いの理解と信頼性向上に努め、より一層の発展を目指します。

 **ステークホルダーコミュニケーション**

**これまで寄せられた主な意見や苦情と対応内容**

近隣住民の方からの臭気苦情に対し、脱臭装置の設置(1号機は2010年に設置済み、2号機を2011年7月稼働、さらに2011年に3、4、5、6号機計画をしています)、スタッフや守衛による工場周辺の臭気観測、地域の皆さまへの説明会、臭気対策としての植樹、など改善に取り組んでいます。



脱臭装置(スクラバー)



臭気対策植樹



地域との情報交流会

**地域社会とのかかわり**

2011年度の主な活動を紹介します。

- ・2011年3月 近隣ニコムソントン小学校に昼食を提供しました。



- ・2011年4月 マップヤンボン地域のソンクラン祭(タイの正月)へ寄付を行いました。



- ・2011年5月 産廃管理に関するの見学受入れ(タイ日本企業へ)



- ・2011年10-11月 タイ洪水災害被災地への義援金・他を寄付を行いました。



- ・2011年10月 近隣の寺院の仏事に対し、寄付を致しました。



- ・2011年11月 近隣の寺院でのロイ・カトン祭に参加致しました。



- ・2011年12月 近隣地区サッカー交流を企画・参加いたしました。



- ・2011年12月 近隣小学校に、奨学金を寄付致しました。

YOKOHAMA千年の杜プロジェクト

Yokohama千年の杜プロジェクトと致しましては、2011年8月に第4期植樹を実施しました。2,000人が参加して、6,939本の苗木を植えました。



また、以下の様に、地域行政主催の植樹活動・小学校植樹活動等に参加し、植樹・指導・苗の提供を行っております。

- ・2011年 6,7,8月 近隣小学校・企業等へ、合計3,400本の苗木を寄付、植樹指導等を行っています。



- ・2011年5月 チョンブリ県植物園と協力し、青少年の為の自然保護キャンプ支援を行っています。



- ・2011年5月 IRPC社(タイ石油精製・化学会社)が、杜の見学を致しました。



- ・2011年7月 協賛企業と共に、近隣のバンカオヒン小学校植樹祭に参加、苗木の寄贈と植樹指導を行いました。



- ・2011年8月 近隣のボウイン小地区の植樹会に参加、植樹指導を行いました。



- ・2011年8月 YTラバー植樹祭に参加・支援を行いました。



2011年 その他活動と致しまして、

- ・近隣のマップヤンボン小地区の緑の保全活動に参加いたしました。
- ・地域主催の国王ご生誕記念行事に参加しました。
- ・近隣のブンタタ小学校植樹行事に参加致しました。



コーポレートガバナンスとコンプライアンス

- ・各種法令順守含め 法令基礎について、スタッフ・アシスタントマネージャー以上への教育を、2011年11月より、始めています。
- ・「ノー・ドラッグ」のキャンペーン・教育の実施をスタート、また、採用試験の際のドラッグ検査も行っています。

これらを通じ、コンプライアンス意識の向上を図っています。